

(2) 各部門の研究内容等

部門	教 員	研 究 内 容
環 境 ・ 社 会 基 盤 工 学 部 門	教 授 脇坂 暢	<ul style="list-style-type: none"> 低環境負荷のエネルギー技術や化学薬品生産技術の開発 燃料電池・水電解の性能向上のための材料開発と最先端分光技術を用いた特性評価 光触媒や電解による新規有機合成経路の探求
	教 授 川上 智規*	<ul style="list-style-type: none"> 飲料水や排水からのフッ素化合物やヒ素の除去法の開発 大気中水銀の発生源と挙動に関する研究
	教 授 渡辺 幸一	<ul style="list-style-type: none"> 越境汚染物質や黄砂粒子の動態と北陸地方の自然環境への影響評価 立山等における大気水圏環境の観測的研究 大気の物理・化学的研究 大気エアロゾルの動態に関する研究
	教 授 伊藤 始	<p>橋梁やトンネルなどのコンクリート構造物を長期間にわたり安全かつ快適に利用するための技術を、実験や解析を用いて研究する。</p> <ul style="list-style-type: none"> コンクリートの内部応力の検査技術 コンクリートのひび割れ抑制技術 コンクリートへのフライアッシュの有効利用
	教 授 古谷 元	<ul style="list-style-type: none"> 自然環境下における地盤強度の低下過程の解明 地すべり・斜面崩壊に関与する流動地下水経路の解明 長距離土砂移動現象の解明と土砂移動範囲の予測 マスマーブメントに起因する自然環境への影響評価
	教 授 星川 圭介	<ul style="list-style-type: none"> 衛星リモートセンシングデータ解析技術の開発 センサ・カメラを用いた路上交通行動の分析 空間情報計測・解析技術を用いた地域分析
	教 授 黒田 啓介	<ul style="list-style-type: none"> 新規微量化学物質の環境排出と環境動態の解明 分散型水システムへの適用に向けた浄水技術の開発 プール水の水質と汚染機構の実態解明 光触媒やオゾンを用いた水質浄化技術の開発
	教 授 呉 修一	<ul style="list-style-type: none"> リアルタイム洪水氾濫予測手法の開発 地球温暖化への適応策と流域治水オプションの提案 領域気象モデルを用いた水循環・水環境の予測 富山県沿岸部における津波・高波予測手法の開発
	准教授 内田 慎哉	<ul style="list-style-type: none"> 複数の非破壊評価技術を融合した社会基盤施設の診断システムの構築 非破壊試験の装置・ロボット開発やその社会実装 劣化（塩害・火害・化学的侵食等）した構造物の非破壊による点検技術の開発 コンクリート構造物の品質管理／内部欠陥の非破壊による点検技術の高度化
	准教授 坂本 正樹	<ul style="list-style-type: none"> 水圏生態系の構造を決定する生物間相互作用に関する研究 人間活動由来の化学物質による水圏生態系への影響の評価 生態学的視点での湖沼環境の管理に関する研究

部門	教 員	研 究 内 容
環境・社会基盤工学部門	准教授 立田 真文	<ul style="list-style-type: none"> ・もみ殻シリカのジオポリマー利用 ・もみ殻シリカのナノ構造体の作製 ・循環資源の応用と物性の解析 ・省エネルギーの展開
	准教授 久加 朋子	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の水・土砂輸送特性と流路変動に関する研究 ・河道内植生と流路形態との相互作用に関する研究 ・河川水中の浮遊物質輸送に関する研究 ・水理モデルによる水圏生態系の現象解明に関する研究
	准教授 中村 秀規	<ul style="list-style-type: none"> ・市民対話からの環境ガバナンスの研究 ・オープンダイアログ文化と持続可能な発展政策過程 ・持続可能な発展に関する国際市民対話
	准教授 立花 潤三	<ul style="list-style-type: none"> ・地方都市におけるカーボンニュートラル社会の実現に向けた施策の検討 ・持続可能なインフラ施設の在り方に関する研究 ・地方都市における人口減少の要因解析と抑制策の検討
	准教授 佐伯 孝	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の発生抑制・適正処理・再資源化に関する研究 ・複合廃棄物の分離・リサイクル技術の開発
	准教授 端 昭彦	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水からのウイルス検出方法の開発 ・水中ウイルス定量手法の精緻化 ・水中ウイルスやその汚染指標の遺伝的多様性評価 ・環境中の病原微生物・化学物質由来の健康リスク評価

※の教員については、令和7年度入学者の志望対象とはしません。